

# 経済水道委員会

## 説明資料

高級ホテル立地促進助成について

令和元年8月30日  
観光文化交流局

# 目 次

	頁
1 背景及び必要性	1
2 高級ホテル立地促進助成の概要	2
3 今後の予定	3
 (参考資料)	
1 高級ホテル数主要都市比較	4
2 補助要件設定に際し調査対象としたホテル数等	4
3 補助要件設定に際し調査対象としたホテルの詳細	5
4 横浜市企業立地促進条例	6
5 容積率緩和	7

## 1 背景及び必要性

### (1) 背景

- ・第20回アジア競技大会の開催が令和8年に控えているほか、令和9年のリニア中央新幹線開業後には、スーパー・メガリージョンが形成され、本市はその中心に位置する国際都市となる
- ・本市では平成12年に名古屋マリオットアソシアホテルが開業して以降、東京・大阪に比べ国際的ブランドを含む高級ホテルの立地が進んでおらず、都市間競争において不利な状況に陥っている

### (2) 必要性

首脳クラスが参加する国際会議等のMICE誘致のために、また、海外の富裕層旅行者等の宿泊需要に応え、観光消費額の増大に繋げるためには、高級ホテルが必要

### (3) 誘致すべき高級ホテル像

都市ブランドのイメージを上げる極めて高い水準のホテルで、以下の要件を満たすもの

- ・一定規模の客室数、客室面積
- ・会議や展示会等の開催にも対応できるバンケットルーム
- ・複数のレストラン、フィットネス施設及びホテル専用の車寄せ等の付帯施設
- ・コンシェルジュサービス等の上質なサービスの提供

## 2 高級ホテル立地促進助成の概要

### (1) 目的

首脳クラスが参加する国際会議の開催や海外の富裕層旅行者等の誘致に資するとともに、都市のブランド力を向上させる高級ホテルの立地を促進する

### (2) 対象となるホテル

次の補助要件を全て満たすもの

区 分	内 容
客室面積	・平均面積45㎡以上
客室数	・150室以上
スイートルーム	・スイートルームの設置 ・室数は総客室数の5%以上 ・国賓級の要人に対応できる室（概ね100㎡以上）の設置
バンケットルーム	・バンケットルームの設置 ・ただし1,000㎡以上のバンケットルームを設ける場合、客室数は100室以上で可とする
車寄せ	・ホテル専用の車寄せの設置 ・要人警護に必要な車列を組むスペースを確保すること
附帯施設	・複数のレストラン、スパ・フィットネス施設、バー・ラウンジの設置
その他のサービス	・バレーパーキングのサービス ・コンシェルジュデスクの設置

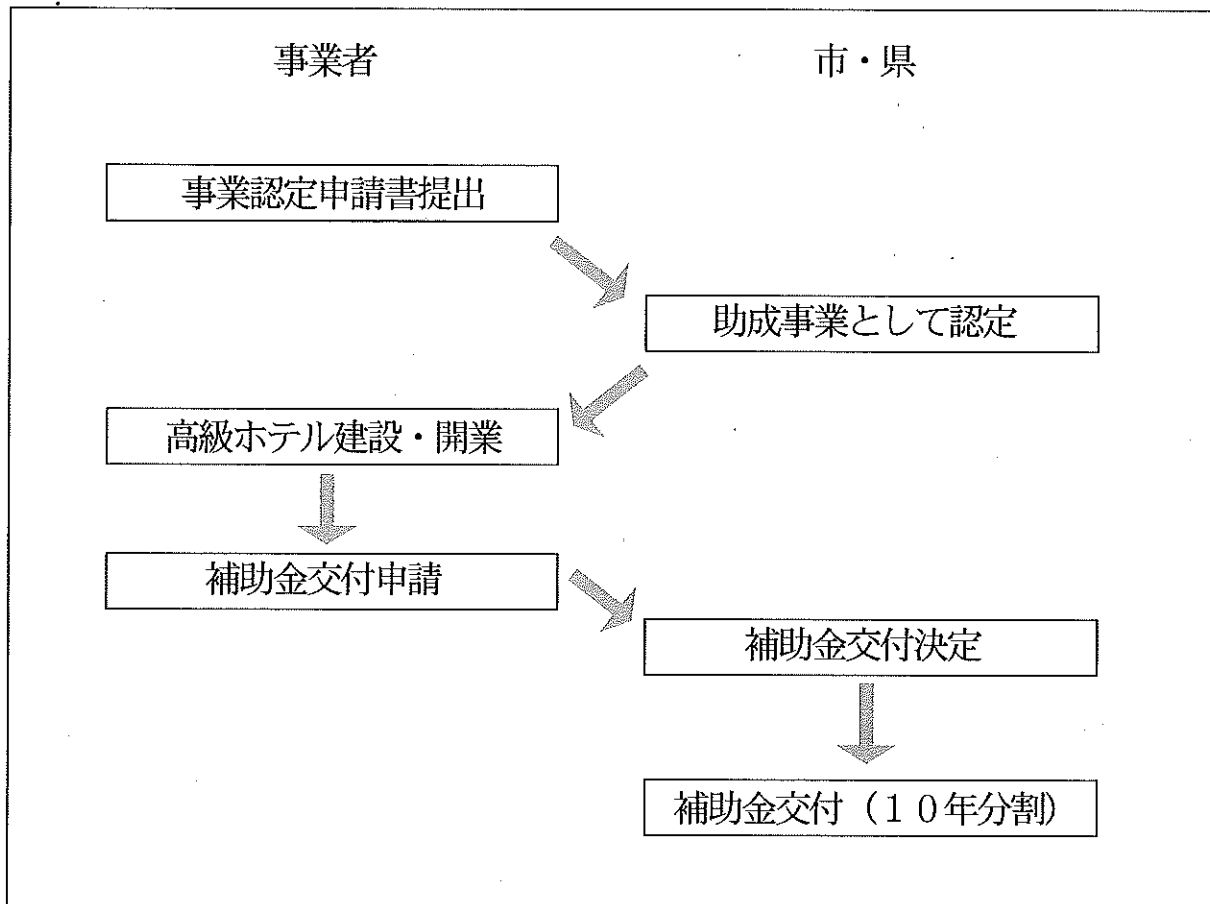
### (3) 補助の内容

区 分	内 容
補助対象経費	・土地を除く固定資産取得費用 （ホテルの新設又は建替えにかかる家屋建設費・償却資産取得費）
補助率	・補助対象経費の10%
限度額	・1件あたり10億円 （県市合わせて最大20億円）
支払方法	・10年間の分割払い

(4) 補助制度の期間

3年間（令和2年度から令和4年度）

(5) 手順



3 今後の予定

令和2年4月 高級ホテル立地促進助成の施行  
事業認定申請の受付開始

参考1 高級ホテル数主要都市比較

区 分	Superior Deluxe	Deluxe	計
札幌市	—	—	—
東京都	4	20	24
横浜市	—	3	3
京都市	—	4	4
大阪市	—	8	8
福岡市	—	1	1
本市	—	1	1

注1 米国旅行雑誌「Travel Weekly」のオフィシャルウェブサイトによる格付けにおいて、上位2ランクのホテル（令和元年8月時点）

2 本市に立地するDeluxe ランクのホテル：名古屋マリオットアソシアホテル

参考2 補助要件設定に際し調査対象としたホテル数等

区 分	ホテル数	総客室数	スイートルーム数	総客室数に占めるスイートルームの割合
横浜市	5	2,263	101	4.5%
大阪市	12	4,770	365	7.7%
本市	8	3,128	67	2.1%

注1 横浜市はAPEC（平成22年開催）において首脳が宿泊した実績のあるホテル

2 大阪市は米国旅行雑誌「Travel Weekly」のオフィシャルウェブサイトによる格付けにおいて、上位3ランクのホテル（令和元年8月時点）

3 本市は米国旅行雑誌「Travel Weekly」のオフィシャルウェブサイトによる格付けにおいて、上位4ランクのホテル（令和元年8月時点）

参考3 補助要件設定に際し調査対象としたホテルの詳細

都市名	ホテル名	開業	TravelWeekly による格付け	客室			客室面積 平均
				総客室数	うちスイートルーム		
					室数	割合	
横浜市	ホテルニューグランド	1927	⑥	238	12	5.0%	32.2㎡
	ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル	1991	⑨	594	39	6.6%	40.1㎡
	横浜ロイヤルパークホテル	1993	⑨	603	19	3.2%	40.7㎡
	横浜ベイホテル東急	1997	⑨	480	21	4.4%	43.1㎡
	横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ	1998	⑦	348	10	2.9%	35.5㎡
	小計			2,263	101	4.5%	38.3㎡
大阪市	リーガロイヤルホテル(大阪)	1965	⑧	1,042	52	5.0%	30.8㎡
	ヒルトン大阪	1986	⑧	562	27	4.8%	32.8㎡
	ホテルニューオータニ大阪	1986	⑧	525	53	10.1%	33.7㎡
	ホテル阪急インターナショナル	1992	⑨	168	24	14.3%	45.1㎡
	ウェスティンホテル大阪	1993	⑧	300	46	15.3%	47.2㎡
	帝国ホテル大阪	1996	⑨	381	23	6.0%	40.0㎡
	ザ・リッツ・カールトン大阪	1997	⑨	291	52	17.9%	50.7㎡
	スイスホテル南海大阪	2003	⑨	546	28	5.1%	31.3㎡
	セントレジスホテル大阪	2010	⑨	160	12	7.5%	52.1㎡
	インターコンチネンタルホテル大阪	2013	⑨	272	20	7.4%	50.9㎡
	大阪マリオット都ホテル	2014	⑨	359	20	5.6%	40.5㎡
	コンラッド大阪	2017	⑨	164	8	4.9%	56.7㎡
	小計			4,770	365	7.7%	42.7㎡
本市	名古屋観光ホテル	1936	⑦	369	7	1.9%	27.4㎡
	ホテルナゴヤキャッスル	1969	⑧	195	7	3.6%	28.8㎡
	名古屋東急ホテル	1987	⑧	564	16	2.8%	26.1㎡
	ヒルトン名古屋	1989	⑧	460	15	3.3%	31.8㎡
	ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋	1999	⑦	246	7	2.8%	33.4㎡
	名古屋マリオットアソシアホテル	2000	⑨	774	15	1.9%	33.9㎡
	名古屋プリンスホテルスカイタワー	2017	⑦	170	0	0.0%	36.5㎡
	名古屋JRゲートタワーホテル	2017	⑦	350	0	0.0%	24.1㎡
小計			3,128	67	2.1%	30.3㎡	

注 米国旅行雑誌「Travel Weekly」のオフィシャルウェブサイトにおいて、格付けを10段階評価で行い、最上ランクを10としている。

参考4 横浜市企業立地促進条例

(1) 対象となるホテル

次の補助要件を全て満たすもの

区 分	内 容
客室面積	・最低面積45m <sup>2</sup> 以上
客室数	・100室以上
スイートルーム	・スイートルームの設置
車寄せ	・ホテル専用の車寄せの設置
附帯施設	・複数のレストラン、バンケットルーム、スパ、フィットネス施設、バーの設置
その他のサービス	・バレーパーキング、コンシェルジュのサービス

(2) 補助の内容

区 分	内 容
補助対象経費	・土地を含む固定資産取得費用
補助率	・補助対象経費の12%
限度額	・家屋・償却資産：40億円 ・土地：10億円
支払方法	・10年間の分割払い



# 参考5 容積率緩和

「宿泊施設の整備に着目した容積率緩和方針」（住宅都市局所管）を改定し、都市計画制度の活用により、通常は宿泊施設床面積相当分を容積割り増しするところ、高級ホテル立地促進助成の適用を受けるホテルに対しては、一定の範囲内で容積割り増しを2倍にする

